

# 気仙地域が廃食油の資源化により里川・里海を保全する低炭素コミュニティづくりのモデルとするプロジェクト

活動地域  岩手県

復興支援助成

3年目

実践

ローソクの科学講座  
参加児童数 **123人**

エコクッキング講座  
参加者 **165人**

今年度計画の達成度 **97%**

目標達成度 **92%**



回収した天ぷら油を精製した燃料で発電

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

大船渡市産業まつりでの発電機2台の設置の許可がなかなか下りず、直前に連絡があったため、発電機の搬送の手配などギリギリ準備が間に合った。

### ■ 工夫した点

市民の協力で集めた天ぷら油を原料とした燃料で、発電機を動かし、産業まつりの屋外の屋台と幼児向け遊具「ふわふわ」の電源を供給して誰もがわかる見せ方ができた。

## 課題

地域での廃食油回収～利用までの円環をつくること／震災からの復興は住民に寄り添いつつ、地域において人と人がつながり、復興が進んでも大船渡湾の水質改善を目指す。

## 目標

①廃食油による資源化量（バイオディーゼル燃料の精製量）が増加する、②廃食油の資源化に対する市民の理解が増える、③廃食油資源化活動を行う地域が増える

## 活動内容と成果

地元の団体とともに各地域のコミュニティで天ぷら油の出し方講習を含めたエコクッキングや学童クラブ向けの科学講座、大船渡産業まつり出展のほか、JCのイベントや地元の若者グループとの連携など周知の結果回収量と活動地域も増え、活動の反響や手応えは着実に得られている。環境懇談会として、気仙地域の3自治体が協力する体制も生まれている。課題を多く抱える中で実施したバイオマスセミナーは満員御礼となり、今後の連携先の掘り起こしにつながる足がかりを得た。また、他県との交流は、様々なヒントが得られている。



学童クラブで行った科学講座での実験の様子



バイオマスパワーセミナー「液体編」

## 全助成期間の活動を振り返って

地元の団体とともに各地域コミュニティで天ぷら油の出し方講習を含めたエコクッキング講座や学童クラブ向けの科学講座、大船渡産業まつりへの出展を継続した。けせん環境懇談会として、県及び3自治体の協力も得られ、BDFの使い道を農業機械や発電機に切り替えた。バイオマスパワーセミナーは気体・液体・固体というテーマ分けで行い、バイオマス利用拡大フォーラムとして、「地域循環共生圏フォーラム」を開催した。

〒020-0124  
岩手県盛岡市厨川5-8-6  
電話：019-681-1904  
E-mail：kanpai@utopia.ocn.ne.jp  
HP：http://www.iwate-eco.jp/



## 今後の展望

震災からの復興が進む中で、再び悪化している大船渡湾の水質を良くしようという活動も浸透してきた。発電機を地元の最大のイベントの中で住民の目に触れる形で活用され、地域において人と人がつながり、お互いの顔が見える活動となってきた。今後は、この活動でつながった地元の団体、青年会議所との連携のもと、学童クラブ向けの新たなプログラムづくりを進めたい。